

## 第29回いせはら市展 書部門

### 入賞者

（\*は学生です）

伊勢原市長賞	漢字	高橋 浩美	新秋寄樂天
伊勢原市議会議長賞	かな	小島 清蘭	草花とほととぎす
伊勢原市教育委員会賞	漢字	瀬間 唯心	幽默
優秀賞	* かな	小泉 由里子	風そよぐ
優秀賞	* かな	飛田 和奏	中務集
審査員奨励賞	漢字・かな	岩田 康生	伝藤原行成筆 倭漢朗詠集巻下
審査員奨励賞	かな	増田 みどり	春のきざし
審査員奨励賞	* 漢字	飯浜 蒼衣	古四種巻
審査員奨励賞	* 漢字	米倉 綾優	敦煌遺書写経

### 入選者

（\*は学生です）

かな 片野 浩一 草枕	* 漢字	塚山 華織	明王鐸詩巻二種
漢字 磯崎 直美 千字文	* 漢字	丸山 結叶	臨張遷碑
漢字 森 虚堂 迎古稀有感	* 漢字	毛利 ここみ	吳昌碩詩稿
* 調和体 小泉 由里子 星の輝き	* 漢字	渡邊 芽伊	論語
* かな 宇都宮 紗愛 臨 高野切第三種	* 漢字	宮崎 結衣	欧陽詢行書千字文
漢字 後藤 美保 白楽天詩句	* 漢字	米谷 綾乃	牛橛造像記
かな 高橋 桂月 百人一首より	* 漢字	鬼形 結衣	書譜
漢字 上原 由貴 杜牧詩 山行	* 漢字	熊澤 果音	集字聖教序
漢字 亀崎 沙緒梨 篆書千字文	* 漢字	杉原 杏	開通褒余道刻石
漢字 瀬戸 真美 楽游原	* 漢字	高橋 那菜	崔子玉座右銘
漢字 間宮 綾乃 望天門山	* 漢字	原 知花	牛橛造像記
漢字 間口 蒼空 楽游原	* 漢字	本間 悠雅	黄道周詩稿
* 漢字 渡辺 彩代 懷素自敘帖	* 漢字	山本 涼菜	九成宮醴泉名
* 漢字 加藤 瑠琉 月下獨酌	かな	武井 浩子	春かすみ
* 漢字 高橋 虹七 伊都内親王願文	調和体	高橋 浩美	小倉百人一首より
* 漢字 伊藤 舞 争坐位文稿	漢字	東海林 千絵	筆花開處墨花濃
* 漢字 今井 咲瑛 石臺孝経	調和体	東海林 千絵	僕のこと
* 漢字 栗原 悠佳 松風閣	漢字	椎名 悠聖	霜露
* 漢字 鈴木 菜々美 宣示表			

### 出品協力者

無鑑査

高橋 邦夫 漢字 嘉雨好風 第11回、第12回市長賞受賞者

藁科 良信 かな 草の穂 第14回、第16回市長賞受賞者

鈴木 華芳 漢字 和仲良春晚即事 第19回、第20回市長賞受賞者

## 審査講評

### 《全体講評》

搬入作品の内訳は、漢字31点（臨書24点）、仮名8点（折帖1点）、調和体3点、少字1点、計43点です。年々出品される方も高齢化を迎え、どの部門も維持をすることが困難である中、高校の出品を得ることで「書」への学びを後世に伝えていく役割は大きいと思います。漢字・仮名の書、調和体、少字数書とジャンルの豊富さを提供できている第29回いせはら市展であると感じています。

出品された方々の更なる精進を期待します。

### 《伊勢原市長賞》

…高橋 浩美「新秋寄樂天」（漢字）…

会場の中にあって、ひときは目を惹かれた一点です。2×6サイズの収め方を熟知され、3行書きとは言え十分見応えある作品です。

特に、二行目「矢静火星流蟲」の部分の展開、「響偏」「依井螢飛魚過」の文字群の構成については驚かされました。また、調和体も出品されており、表現力の豊かさを備えている人であると感じています。益々の精進を重ねられ、幅広い活躍をされることを期待します。

### 《伊勢原市議会議長賞》

…小島 清蘭「草花とほととぎす」（かな）…

変体仮名でまとめた中字を上段に、やはり変体仮名を多用した小字を下段に配しています。筆の弾力を生かした勢いのある書きぶりで全体に充実したエネルギーを感じます。一般に読める作品とは違いますが、万葉の香りが味わえます。

### 《伊勢原市教育委員会賞》

…瀬間 唯心「幽默」（漢字）…

淡墨の中に残る「幽默」という文字、出品作品の中にあって唯一の少字数、墨象作品です。おそらく画箋紙は、綿料単宣で書かれ、にじみを広くひろげる点では筆墨の妙を感じさせてくれました。今後の活躍が楽しみです。

### 《優秀賞》

…小泉 由里子「風そよぐ」（かな）…

半切に四段の構成、穏やかな流麗な書きっぷりです。墨量の潤濁を意識されると遠近感も更に強まり、表現力が増すことでしょう。2点出品されている「星の輝き」とともに、表現力豊かな感覚が備わっていると思いました。

### 《優秀賞》

…飛田 和奏「中務集」（かな）…

平安時代の三十六歌仙の一人、中務の歌集の臨書です。筆力あり澄んだ線條、のびやかで息の長い運筆が特徴を捉えています。軸装も新鮮です。更なる筆の上下運動の鍛錬によって、より歯切れのよい表現に近づくと感じます。

### 《審査員奨励賞》

…岩田 康生「伝藤原行成筆 倭漢朗詠集巻下」（折帖）…

この古筆は、様々な書体の漢字と仮名を交えながら、全体に流れと変化をつけています。堅実な筆さばきで、呼吸乱れぬ臨書作品になっています。ご自身によるもののでしょうか？料紙や装丁によっても優雅な雰囲気漂う力作です。

### 《審査員奨励賞》

…増田 みどり「春のきざし」（かな）…

新古今和歌集の春のうた一首です。無理のない爽やかな筆線の佳作です。墨の潤濁、盛り上がり部分の軽快さが目を引きます。半切に二行の作品として品よくまとめられ、安定感があります。

### 《審査員奨励賞》

…飯浜 蒼衣「古四種卷」（漢字）…

清代の隸書家楊岷は、この書風を築きあげるにあたり、礼器、乙瑛、張遷碑を好んで学書してきました。原寸は、4cm大ではありますが、右払いに段をつけながら波磔表現するところです。濃墨を使用し、深みのある重厚な作に仕上がっています。

### 《審査員奨励賞》

…米倉 綾優「敦煌遺書写経」（漢字）…

敦煌より出土した写経断簡です。サイズは、A3縦、1行に18字、48行です。字の大きさは、1.5cm大です。収筆に特徴があり、起筆はスーッと入筆しています。4倍の大きさに拡大し、半切4行、筆致鋭く安定している秀作です。